

職員インタビュー 『県のシゴト、私のユメ』

獣医師

農家に頼ってもらえるような
獣医師になりたい



佐野 豊

東濃家畜保健衛生所

H31年 採用
飛騨家畜保健衛生所
R 2年 現所属

岐阜県庁を志望された動機を教えてください

大学入学を機に岐阜県に移住し、岐阜県の魅力や県民の方々の温かさを感じながら日々を過ごしていました。その中で岐阜の畜産に興味を持ち、その現場で働きたいと思ったのが大きな理由です。岐阜県の家畜衛生に携わる仕事を通して、学生時代に感じた恩をしっかりと返せるよう頑張りたいと思います。

一番印象に残っている仕事を教えてください(前職含)

私が入庁した平成31年は、豚の伝染病である豚熱が県内の農場で多発していました。防疫措置にも何度も従事しましたが、発生した農家のことを思うと毎回やるせない気持ちになりました。その中で10月に、養豚関係の方たちが待ち望んでいた豚熱のワクチン接種が始まり、初回に従事した際、農家から感謝されたことはとても記憶に残っています。

働く環境についてはどう思われますか

業務においては専門的な知識や技術を求められますが、農林水産省が主催する講習会や研修等に参加して、新しい知識と技術を習得することができます。また、周囲の職員の協力も得やすい環境の為、困難な仕事に当たっても、助け合いながら業務をこなすことができます。

今後実現したい夢はなんですか

農家に頼ってもらえるような獣医師になりたいと思っています。農家から信頼を得られるよう、日々の努力や誠実さを大切に頑張っていきたいと思っています。

水産

多くの方に身近な川や魚と
もっと触れ合ってもらえるようにしていきたい



下村 雄志

里川振興課

H29年 採用 水産研究所
R 2年 現所属

岐阜県の魅力は何だと思われますか

海拔0mの濃尾平野から標高3,000mの飛騨山脈まで広い県土を有しており、地域によって異なる文化や名産品は魅力的です。また、趣味が釣りである私にとって、日本有数の友釣り・渓流釣り漁場が存在し、魅力ある地域です。

現在の仕事内容を教えてください

里川振興課は、世界農業遺産「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承に関する業務や内水面漁業の振興に関する業務を行っています。私は、里川振興係に在席しており、県民に鮎や水産業、長良川流域文化等に触れ合う機会を提供するイベント等を実施しています。

働く環境についてはどう思われますか

県職員の仕事は幅広く、様々な業務があるため、分からない事や問題に直面することもあります。そのような時には経験豊富な先輩や上司に相談すると、良いアドバイスがいただけるので、一つの業務にひたむきに取り組むことができます。また、休みも取りやすく、プライベートも充実させることができます。

今後実現したい夢はなんですか

様々な分野で多くの知識・経験を積み、そこで得た経験を将来、岐阜県の水産業に還元したいと思っています。また、多くの方に身近な川や魚と もっと触れ合ってもらえるようにしていきたいです。

診療 放射線技師

診療放射線技師の役割を発信し、
行政で活躍できる場を作りたい



山内 亮

可茂保健所

H21年 採用
関保健所兼中濃保健所
H29年 西濃保健所
H30年 医療整備課
R 3年 現所属

入庁して考え方が変わったことはありますか

学生時代における診療放射線技師の実習は病院が主であり、行政としての役割を体験する機会はありませんでした。しかし、専門知識を持った診療放射線技師でなければ対応できない行政としての仕事も多くあり、活躍の場は臨床現場だけではないと実感しました。

現在の仕事内容を教えてください

エックス線撮影の他、医療監視(医療機関への立入検査)、院内感染対策(医療施設内での感染症拡大防止に関する仕事)、医療安全(医療施設における医療事故防止に関する仕事)、衛生統計(保健所公衆衛生年報、人口動態調査に関する仕事)、医療相談(県民からの医療に関する相談に対応する仕事)等、多岐に渡ります。

働く環境についてはどう思われますか

医療技術は日々進歩しており、放射線技術についても進歩しています。その技術を使用して医療を提供するためには、法的な整理、手続きを避けることはできません。関連法規を理解し、その手続きを担当することは容易ではありませんが、常にサポート、協力してくれる仲間の診療放射線技師がいる恵まれた環境です。

今後実現したい夢はなんですか

行政における診療放射線技師の役割を発信し、大学で学んだ知識と技術を備えた診療放射線技師が行政で活躍できる場を作ることです。